

# 標茶町の橋梁長寿命化修繕計画

## 【背景】

標茶町が管理する道路橋は、全104橋あり、その大半は高度経済成長期(1955年～1973年)以降に建造されてきたものとなっています。このうち、建設後50年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在のところ全体の約1%程度に過ぎませんが、20年後には、この割合が約50%を占め、高齢化した橋梁が急速に増大するという調査結果が得られています。これにより、多くの橋梁では、経年劣化に伴う損傷や不具合が発生する可能性が増え、それらは交通の安全を脅かすことにつながっていきます。

標茶町における建設後50年以上の橋梁数の推移（全104橋）

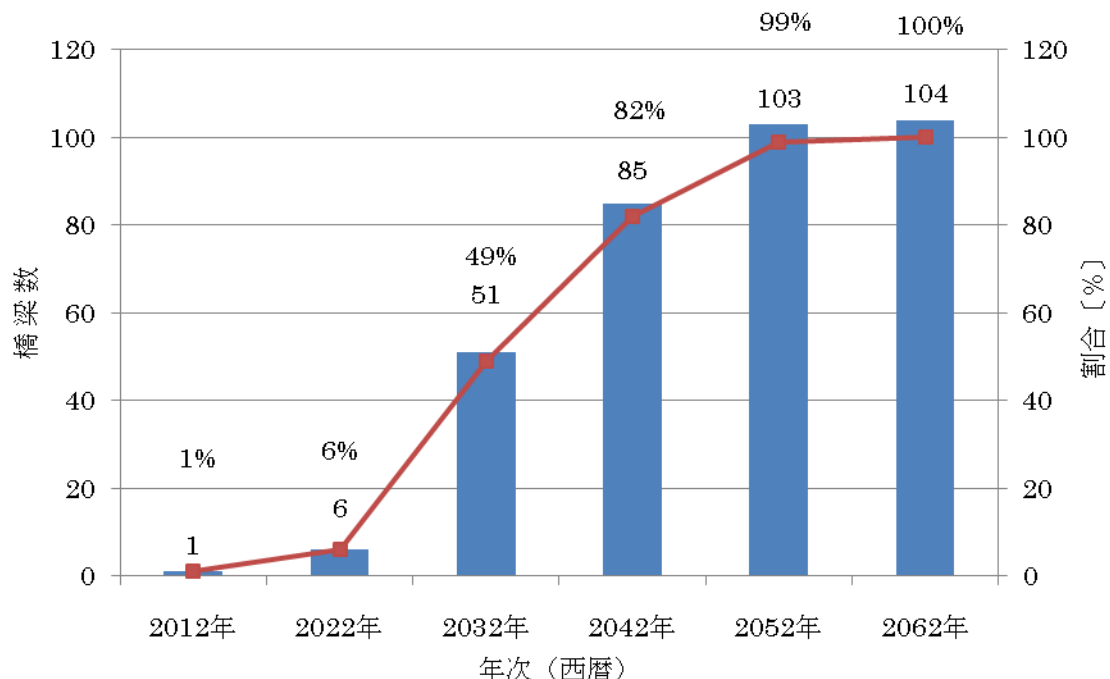


図-1 標茶町における建設後50年以上の橋梁数の推移

## 【目的】

橋梁管理者(国や地方公共団体等)は、道路使用者に対して、交通の安全を確保することを第一として管理を行っています。

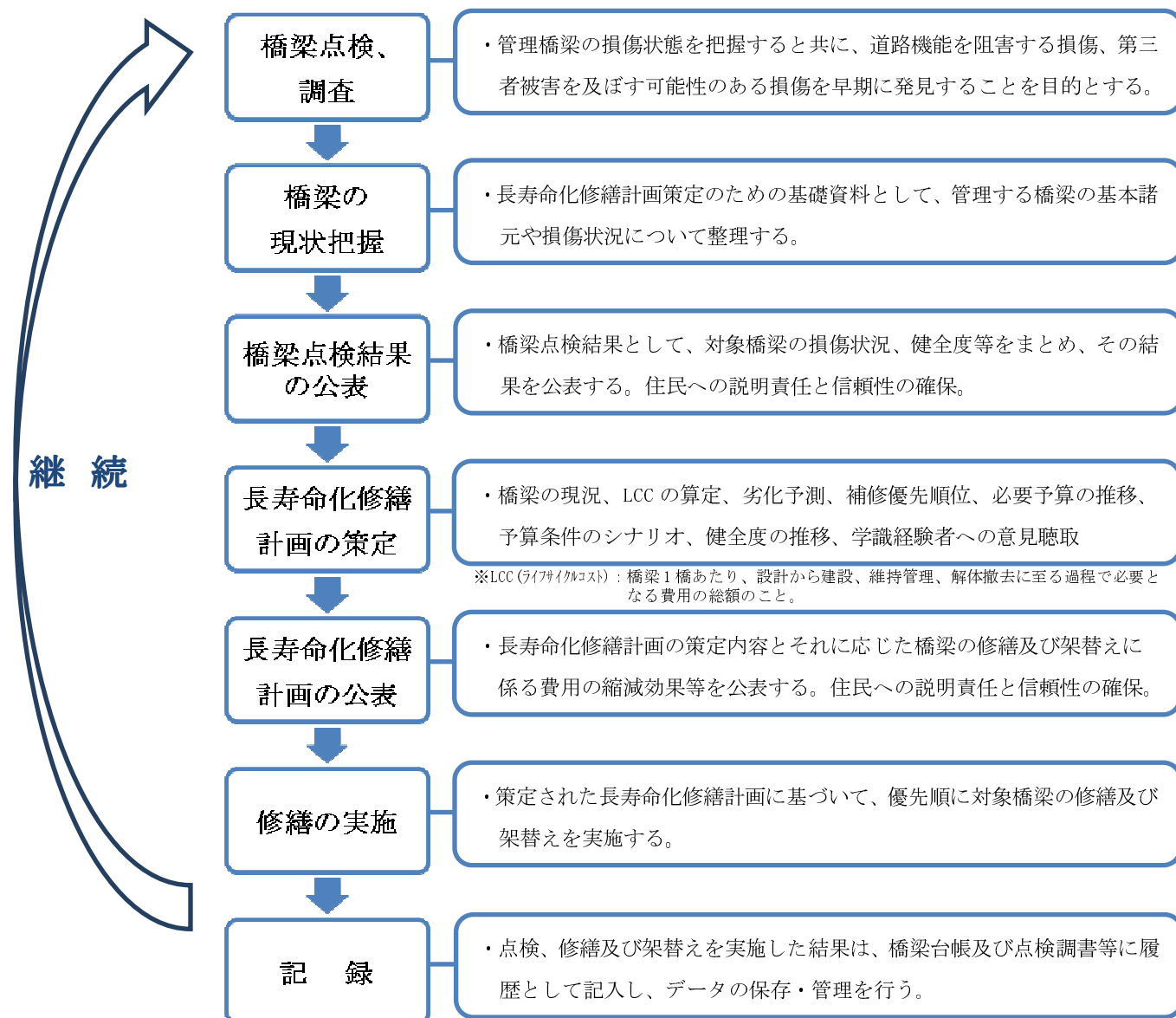
しかし、昨今における橋梁の高齢化や財政状況を踏まえると、持続的な道路整備・橋梁管理を行っていくためには、合理的、効率的、経済的な維持管理体制が求められています。

そこで、先に述べられている背景や現状に対応するため、国では新たに「長寿命化修繕計画策定事業」を制度化し、橋梁管理者に対して実施勧告を行っています。

長寿命化修繕計画とは、今後老朽化する橋梁数の増大に対応するため、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへの転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性、信頼性を確保することを目的としています。

## 【概要】

長寿命化修繕計画策定事業の流れは、以下をご覧ください。



## 【橋梁点検結果】

標茶町では、平成23年度(2011年)までに、管理する全104橋の橋梁点検が終了しております。点検された橋梁の中には、通行止め、交通規制等の緊急対策を要する橋梁はありませんでした。

## 【長寿命化修繕計画策定結果】

標茶町では、平成 24 年度 (2012 年) において、管理する全 104 橋を対象とした長寿命化修繕計画の策定を行いました。

過去に実施された橋梁点検結果を取りまとめた下表-1 によると、「点検健全度 1 および 2」に該当する橋梁は 40 橋を有し、損傷が著しいことから、策定を行う上で優先的に修繕対象として検討を行いました。

一方で、「点検健全度 3～5」に該当する橋梁は 64 橋を有し、損傷は中度～低度であることから経過観察を基本としますが、橋梁点検結果によっては修繕対象として検討を行いました。

以上より、今後 10 年間の長寿命化修繕計画では、損傷の著しい橋梁に加えて、橋梁および路線の重要性、修繕の優先順位等の諸条件について総合的に策定した結果、16 橋の修繕工事を実施していく予定となりました。

表-1 現在の管理橋梁健全度

点検健全度 R		損傷程度の評価区分 <sup>※</sup>		橋梁点検結果 (全104橋)
		5段階評価	2段階評価	
5	良	a	無	11橋
4	↑ ↓	b	-	11橋
3		c	-	42橋
2		d	有	39橋
1	悪	e	-	1橋

※『道路橋に関する基礎データ収集要領(案)』  
～ 国土技術政策総合研究所

## 【今後の予定】

今後は、町民の皆様が安全に道路施設を利用していただけるよう、修繕計画を基本として、平成 26 年度 (2014 年) から順次修繕工事を実施していく予定となっております。

### 標茶町の橋梁長寿命化修繕計画に関する問い合わせ先

標茶町 建設課

TEL : 015-485-2111

FAX : 015-485-4111

E-mail : info@office.town.shibecha.hokkaido.jp

以上。